



# 元気っ子

No.219 ながさわ保育園

平成 27 年 11 月号

園長

市川 温 予

一年中で一番いい季節になりました。周りの自然に目を向けると、園庭の木々も綺麗に紅葉をはじめています。赤色系の紅葉はシャラや南京はぜ、黄色系の紅葉はプラタナス、とちの木、くぬぎなどです。子ども達は、綺麗に色づいた落ち葉を集めたり、ままごとのごちそうに見立てたり、葉っぱをリレーのバトン代わりにしたりと自然と関わって遊んでいます。また、落ちた葉っぱは、土の栄養や虫のお布団にもなるし、古い葉を落とすことで、また来年葉っぱの赤ちゃんが出てくる、そうやって命がめぐっていくということを子ども達にも伝えていきたいと思ひます。



さて、10月17日(土)の「親子で楽しむ運動会」には、たくさんの方に来ていただきました。役員さん方には、打ち合わせから当日の準備、後片付け等、お世話になりありがとうございます。今年の運動会も子ども達も保護者の方も笑顔がいっぱいで見ていてとても嬉しく思ひました。毎年一番盛り上がるのが、ライオンの親子リレーです。見応えがあり応援にも力が入ってしまいます。数人の方がコーナーでころびましたが、その後も一生懸命に走っている姿はとても素敵でした。子ども達にとってもそういう大人の姿を目の前にするということはとても大切なことだと思ひました。とにかく「一生懸命にやる」ということが、大切なことだと思ひます。また、ライオン組は各クラスのプラカード持ち、誘導、アナウンス、競技のお手伝いといろんな役割がありました。一人ひとりがその役割を責任をもってやってくれました。開会式のはじめの言葉、閉会式の終わりの言葉も堂々とはっきりと伝えてくれました。さすがライオン組だなあと思ひました。運動会后、ライオン組の真似をして、年中、年少さんがリレーをやっていたのですが、自分達で順番を決めて年中さんが年少さんに「こうやってバトンを渡すんだよ。〇〇ちゃんに渡して。」などきちんと説明をしていました。子どもの力はすごいですね。こうやっていろんなことを子ども同士で学んでいくのです。一番大切なことは、遊びの中でこそ経験できる学びと人間関係なのです。本当に楽しそうに笑ひあつて園庭を走る子ども達の顔を見ているとほんわかと幸せな気持ちになります。



今日(29日)、ライオン組が歩いて樫大神社に行きました。片道4.5kmの道のりを頑張つて歩きました。参拝した後、樫大神社でお弁当を食べ、帰る途中に小社公園で一時間程遊んで保育園に帰ってきました。樫大神社に行く途中の景色を眺めながら友達といろんな話をしたり、会った人と言葉を交わしたりととてもいい時間だったのでないかと思ひます。豊かな自然は子ども達にとってとても大事で必要です。バスや車で行くのは簡単ですが、自分の荷物を背負つて自分の足で歩く！とてもいいことです。4.5kmの道のりを頑張つて歩いたことは自信にもつながり、いい経験になったと思ひます。子どもってすごいですね。大きな拍手です。

これからもいろんなところへ散歩に出かけたり、身体をいっぱい動かし夢中になつていっぱい遊んでほしいと思ひます。